

私たち宇宙線研究室では、可視光よりもエネルギーの高い光—X線およびγ線で宇宙を「見る」ことにより、生き生きと活動する真の宇宙の姿に迫ります。普段はX線グループとγ線グループに分かれ、それぞれ宇宙の観測的研究および宇宙線検出器の開発を行なっています。私たちと一緒に見えない宇宙を見に行きませんか？

教授  
小山 勝二 谷森 達

助教授  
鶴 剛

助手  
田澤 雄二 窪 秀利  
松本 浩典 身内 賢太郎

URL  
<http://www-cr.scphys.kyoto-u.ac.jp/>

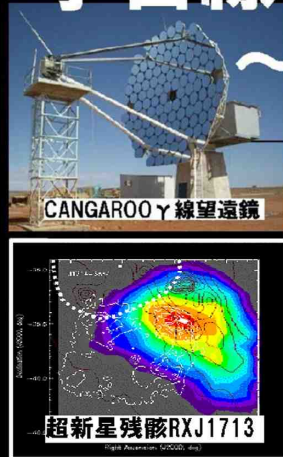
# γ線グループ

## 高エネルギー宇宙線の起源を探る

### ～CANGAROO～



オーストラリアの荒野に立つCANGAROO望遠鏡



CANGAROOγ線望遠鏡

超新星残骸RXJ1713

オーストラリアにあるCANGAROOγ線望遠鏡を用いて、高エネルギー宇宙線の加速機構の解明から暗黒物質の間接的探索まで、様々な高エネルギー現象の研究を行なっています。

## 宇宙を見る新しい目を創る

### ～新手法によるガンマ線カメラ、暗黒物質検出器開発～

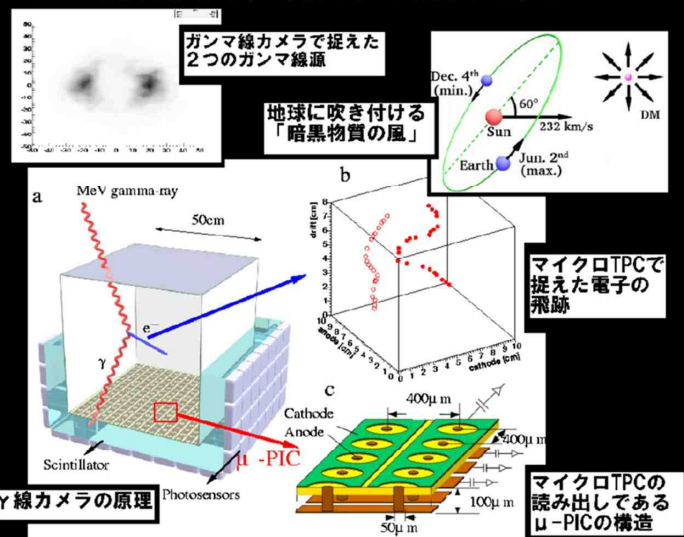
我々は独自に開発した三次元荷電粒子微小飛跡検出器「マイクロTPC」の応用として新手法によるガンマ線カメラ、暗黒物質検出器の開発を進めています。

ガンマ線カメラは従来のカメラでは不可能だった、一光子毎に到来方向を決定できる手法を確立、優れた空間分解能を持ったカメラを製作、来年度より数回の気球実験を計画、宇宙ステーションや人工衛星でのガンマ線観測を目指しています。

暗黒物質探索実験は、マイクロTPCを用いることで暗黒物質の到来方向を知ることの出来るという特長を活かして、未発見粒子「暗黒物質」の発見を目指して開発を進めています。

カンガルーグループでは、オーストラリアに建設したγ線望遠鏡(CANGAROO)による観測、解析など、宇宙の高エネルギー現象の研究を行なっています。カンガルーグループに入れば、M1から年数回オーストラリアに観測に行く機会をもらえ、貴方も戦力としてすぐに必要としてもらい、バリバリと研究することが出来るのです。オーストラリアの満天の星空の下、宇宙への想いを共に巡らせましょう。

M1 その1



普段とは違った「目」を使って宇宙を眺めてみたいでしょう？

M1 その2